

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 井原 高等学校
実践場面	地域における商工会議所等と連携した取組
実践日時（時期）	令和7年7月17日（木）
対象生徒（学年）	普通科・地域生活科 2年生 136名
連携の形態	包括連携協定 （ 井原市商工会議所 ）
学びの分類	企業訪問・インターンシップ
実践の内容	
<p>【現状】</p> <p>①令和6年度、1年次に井原市内の企業（21社）による「合同企業説明会」に参加し、自分たちの身近な場所で各企業がどのような取組を行っているか、お話を聞かせていただいている。</p> <p>②1年次の総合的な探究の時間で、生徒1人ひとりが井原市内の特産品や井原の魅力を考える取組をしており、現状としてこれからの井原に必要なものをそれぞれの視点で考えることができている。</p> <p>・上記の①②の内容を踏まえて、実際の「仕事の現場」を訪問し、それぞれの企業の取組を知り、自らのキャリア設計と学部・学科又は就職等の進路選択の一助としている。</p> <p>【実践内容】</p> <p>・井原市商工会議所に協力を依頼し、井原市内の企業に呼びかけていただくことで、多くの企業が集まり、高校生たちに企業訪問の場が提供されることにつながった。</p> <p>・参加する2年生の生徒にアンケートを取った結果、班別に12社の企業に参加することとなった。</p> <p>・事前学習として、自分たちが訪問する企業について調べ、企業への質問内容を考えた。</p> <p>・それぞれの訪問の場で、「各企業がどのような課題を抱え、それに対してどのようなアクションを起こしているか」や、「これからの時代に求められる人材」、「高校生のうちに学んでおいたほうが良いこと」等を教えていただくことができた。</p> <p>・企業訪問の際に見聞き・体験した内容を、事後学習としてレポートにまとめ、キャリアパスポートのファイルに綴じた。今後進路選択をしていく際に、今回の取組の内容を振り返り、生徒自身が自分のやりたいことを考える一助とさせたい。</p>	
実践による効果等	
<p>・多くの受け入れ可能な企業を確保でき、1年次の企業説明会との連続性をもって、企業訪問を行うことができた。生徒たちは、企業の現在を知り、自分たちにこれから求められることについて系統的に考えることができた。</p> <p>・生徒たちにとって、地域の企業の事業内容や取組の現状を知ることで、これから自分たちが何を学んでいくべきか考えることができ、職業意識の向上につながった。</p>	

